上手に洗濯してますか？

洗濯物を30℃で洗うのは経済的？

30℃での洗濯は、40℃に比べ、エネルギーを節約し、CO_2の発生を抑えることができます。そして、洗濯物を高温で傷めることなくきれいにすることができます。というのは、現代の洗濯機の性能の向上と洗剤の進歩により、低温でもきれいに洗濯ができるのです。

洗濯前に以下をチェックしましょう。

色別に洗濯･･･
白い衣類と濃い色の衣類を一緒に洗わないこと。

衣類に付いている表示･･･
生地を傷めないよう、水温、手入れ、洗濯方法（手・洗濯機）、洗剤種類（中性・アルカリ性）、漂白剤使用、アイロン温度などに気をつけます。

病人の衣類など･･･
他の洗濯物とは別にして洗うこと。汚れがひどい場合は、普通の洗濯洗剤をつけて手で軽く洗い、その後洗濯機で洗ってください。たとえば、シラミをもらってきた子どもの服やシーツなどは、別にしてに90°Cで洗いましょう。

洗剤･･･
必要以上に洗剤を入れてもきれいになるとは限りません。説明書で量を確かめ、必要量を使って洗濯しましょう。

洗濯量･･･
1回の洗濯物が少ないときは次の日まで待って、無駄に水やエネルギーを使わないようにしましょう。反対に、洗濯量をオーバーして洗濯すると、きれいに洗濯できないことがあります。

リサイクル･･･
洗剤容器をリサイクルしてプラスティックを再利用できるのであれば、各地区のゴミ処理法にのっとって回収してもらい、無駄を少なくしましょう。

家族に病気や怪我のある人がいなければ、30°Cの洗濯でも何の問題もありません。子どもが汚した食べ物の染みなどは、洗濯機に入れる前にもみ洗いしたり、染み抜き用の薬剤を振り掛けてから洗濯機に入れると、きれいに仕上がります。油の付いた作業着や泥だらけの運動着など汚れのひどいものは別にして、60°C以上で洗濯するといいでしょう。必要以上に水温を上げて洗濯すると、生地を傷めたり、形態が変わったりします。

ヨーロッパの平均洗濯温度は、41°Cだそうです。これを3°C下げただけでも年間2,300GWhの電気消費減、30万戸分の年間消費電力に相当するそうです。賢く洗濯して、住みやすい地球を保ちましょう。

きれいに洗濯ができたら、アイロンがけも楽しくなります。秋になったら、夏物をしまうときですね。寒い時期の長いベルギーでは、夏服とはしばらくさようなら。きれいに洗濯して、来夏にまた楽しく着れるよう大事にしまってくださいね。ウール物には、忘れずに防虫剤を入れて収納してください。

洗濯洗剤

染み抜き

写真はほんの一例です。
プチポワが推薦するものではありません。

柔軟剤

和食レストラン
従業員募集

ブリュッセルの和食レストランが、日本人、
または日本語の話せる人を探しています。
料理のできる方、給仕のできる方。
フルタイム、ハーフタイム、短時間勤務など
ご希望に合わせます。
詳細は0479 79 94 70まで(日・英・仏)